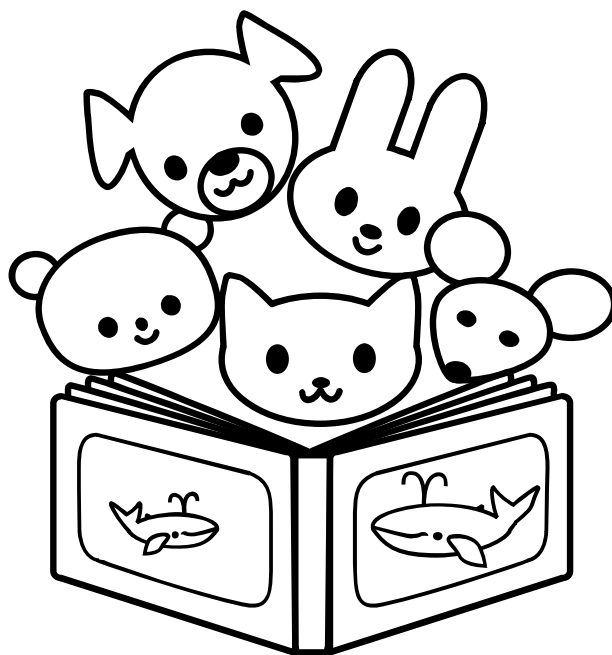


どく しよ  
読書ノート

おや こ え ほん  
親子で絵本!

え ほん  
よんだ絵本はなあに?  
え ほん  
すきだった絵本はなあに?

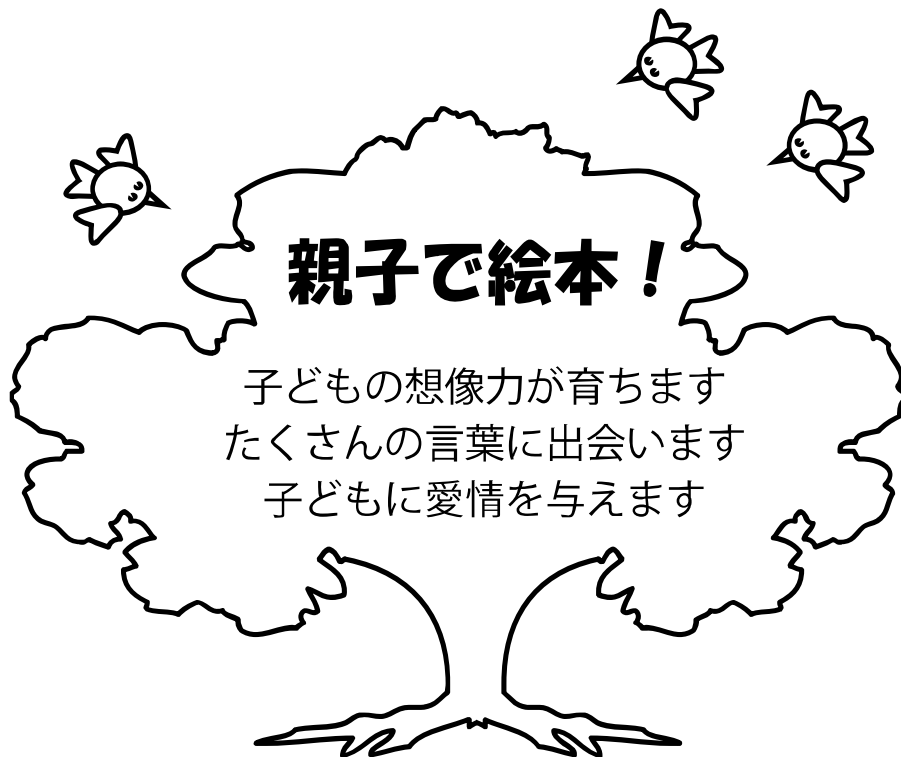
おやこ えほん か  
❀ 親子でたのしんだ絵本を書きとめておきましょう! ❀



ようちえん

くみ

なまえ



子どもは絵本を通して、ワクワクドキドキの世界を楽しみます。

文字が読めるからといっても、絵本を楽しんでいることにはなりません。

身近な人の肉声で読んでもらうことで、話の内容を何倍も理解し、  
お話のもつ楽しさ、雰囲気、言葉のリズム感などを楽しむことができます。

家庭では1冊の絵本を繰り返してよんでもらったり、  
1つの場面を心ゆくまで見たり、細かいところまで注目したり、  
心地よい言葉を覚えたりしてますます絵本を身近に感じることができるでしょう。

また、絵本を読んでもらって楽しかったという感情は

親への愛情を感じ子どもの情緒が安定します。

子どもの思わず発する言葉やつぶやき、話しかけにうなずいたり、

共感したりして、絵本を通じて子どもの心に寄り添いましょう。

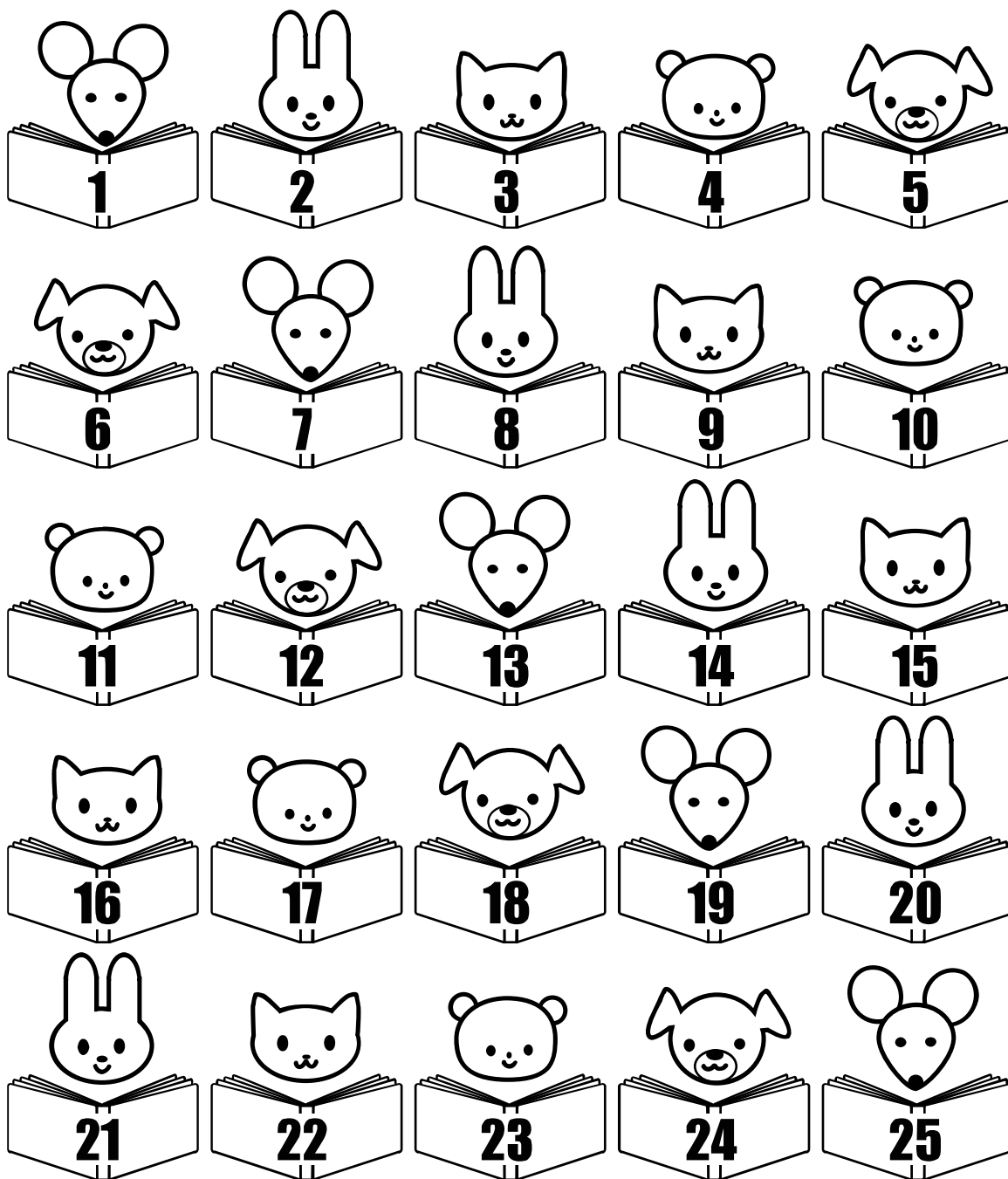
親子の大切なコミュニケーションの場になるでしょう。



# めざせ100さつ！

No. 1

1 さつ よんだら いろを めりましょう

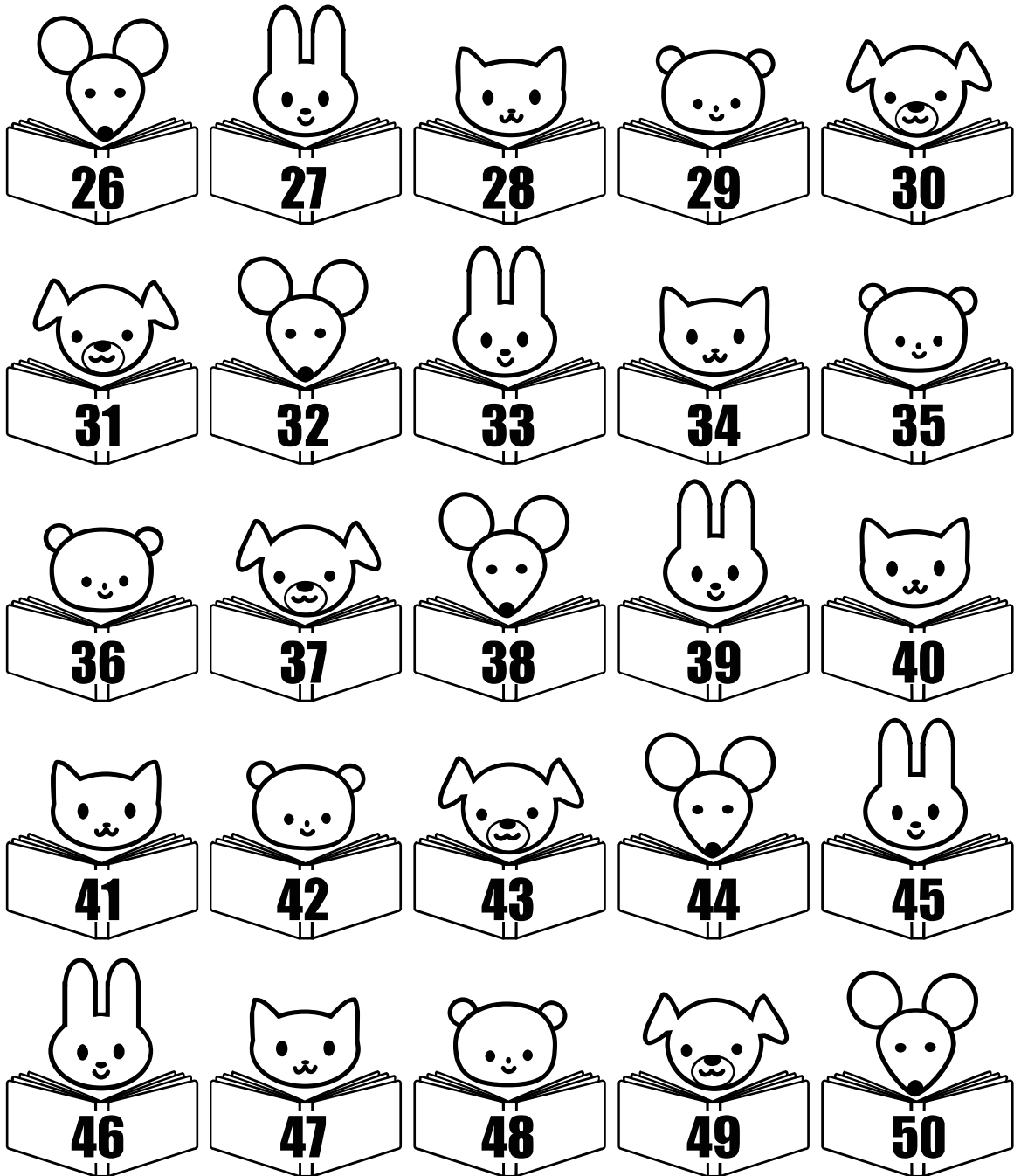


すきなえほん おもしろかったえほんの なまえは なんだったかな？

# めざせ100さつ!

No. 2

1 さつ よんだら いろを めりましょう

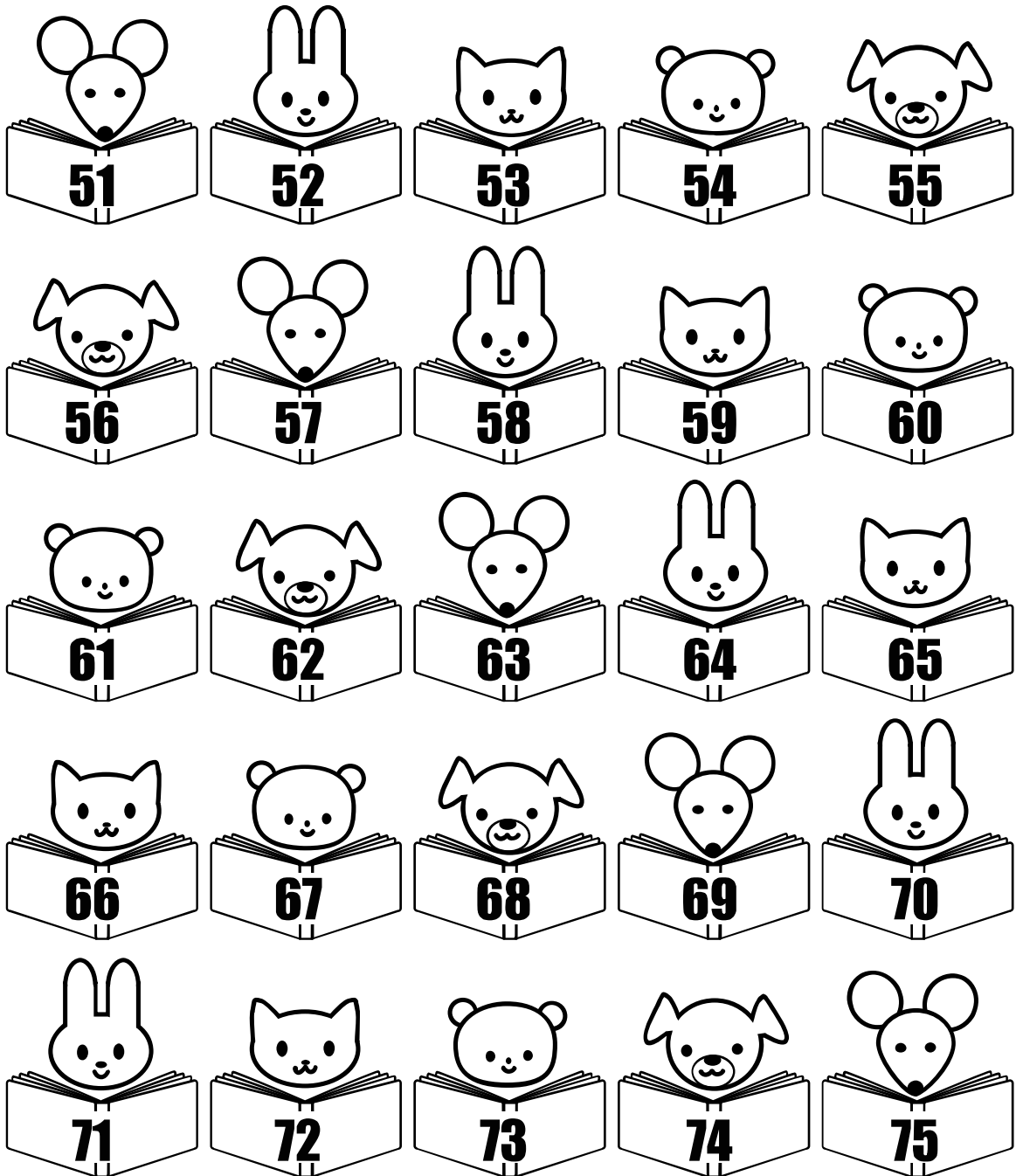


すきなえほん おもしろかったえほんの なまえは なんだったかな?

# めざせ100さつ！

No. 3

1 さつ よんだら いろを めりましょう

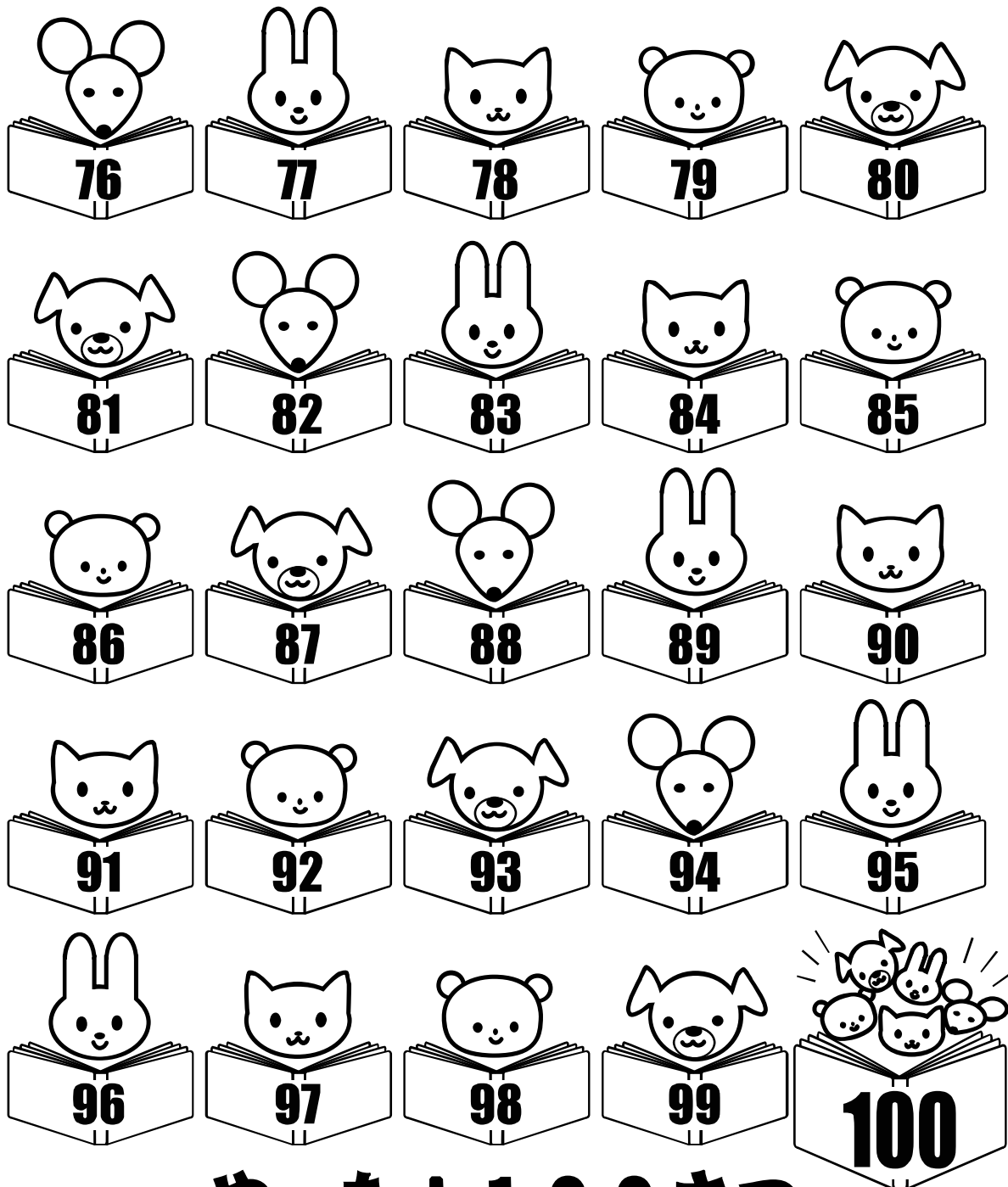


すきなえほん おもしろかったえほんの なまえは なんだったかな？

# めざせ100さつ!

No. 4

1 さつ よんだら いろを めりましょう



## やった! 100さつ

ねんかん えほん なんさつ きろく  
1年間でよんだ絵本は何冊 えほん記録をかくておきましょう

冊 おうちの方の感想

おやこ えほん きろく  
親子の絵本記録

読んだ時の子どもの反応やつぶやき、  
保護者の方の感想など、簡単にかき  
とめておきましょう。

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

おやこ えほん きろく  
親子の絵本記録

読んだ時の子どもの反応やつぶやき、  
保護者の方の感想など、簡単にかき  
とめておきましょう。

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日

だいいめい  
題名

ひとこと

ねん 年  
つき 月  
ひ 日



えほん きろく  
絵本の記録

だいめい  
題名

つき ひ  
月 日



よんでもらったお話や絵本のことをえにかいてみましょう。



Large empty rectangular box for drawing or writing.

えほん きろく  
絵本の記録

だいめい  
題名

つき ひ  
月 日



よんでもらったお話や絵本のことをえにかいてみましょう。



Large empty rectangular box for drawing or writing.

大好き学校図書館推進フォーラム アピール  
～本大好きな子どもを育むため全市へアピールを発信しました～

○家庭へ

家族みんなで本を読む「家庭読書の日（たとえば、毎月「4」と「6」のつく日、子ども読書の日が4月23日であることから毎月23日など）」を決め、子どもが本と出合うきっかけをつくりましょう。

○地域・保護者の皆様へ

子どもが本と触れ合う読書環境づくりに協力するため、ボランティアとしてもっと学校図書館に関心を持ちましょう。

○学校へ

朝読書や読み聞かせなどをすすめたり、調べ学習や毎日の授業の中で学校図書館を活用する機会を作り、子どもが本に親しむ態度を育てましょう。

平成18年10月21日 大好き学校図書館推進プロジェクト

～本大好きな子どもを育むために～

京都市立幼稚園長会では、京都市立幼稚園PTA連絡協議会との連携のもと、平成20年9月から毎月16日に、全ての保護者に呼びかけ、テレビやゲームをやめて、家族とのコミュニケーションを深めることを目的に「ノーテレビ・ノーゲームデー」の取組を実施しています。

また平成21年度からは、この取組をより具体化し、一層“親子のふれあい”を深めるため、毎月16日に「一緒に絵本をよもう！デー」を実施しています。

このたび、PTAの皆様の創意工夫あふれる取組と連動し、親子で絵本を読む楽しみを味わっていただきたいと願い、この読書ノートを作成しました。楽しんでご活用いただければ嬉しいです。

京都市教育委員会

# 家族の宿題

子どもたちは今、物的に豊かな社会の中で「安住」できるという思いと、将来への不安の間で揺れています。子どもたちをこうした状況に追いやったのも、子どもたちをそこから救い出せるのも、私たち大人です。子どもたちは大人の声かけを待っています。自分のことをめいっぱい愛してほしいと願っています。

「特効薬」はありません。

「当たり前なこと」を意識して積み重ねていこうではありませんか。

## ① 子どもの目を見て会話をしよう。

「おはよう」と朝の挨拶を交わすことから一日が始まります。じっくりと語り合いの時間がとれる日はありませんが、わずかな時間でも心がふれあえるように、子どもの目を見て話を聞き、うなずき、話し合しましょう。

## ② 一緒に家事をしよう。

子どもも大人も家事の役割を担い、協力して家庭を支えています。家族の一員として掃除や料理などを分担しながら、それぞれの存在の大切さを確かめ合しましょう。

## ③ 一緒に本を読もう。

まずは図書館や本屋さんで本との出会いを楽しみましょう。そして、その本を読み聞かせたり、感動を語り合ったりして本に親しみましょう。

## ④ 一緒に出かけよう。

散歩がてらの自然観察、スポーツ、清掃ボランティアや地蔵盆などの地域行事など、子どもたちとの活動の幅を広げ、ともに汗を流したり、語り合ったりしましょう。

## ⑤ 立ち止まって、一緒に「答え」を探そう。

身の回りのこと、社会の出来事などに目を向け、子どもの素朴な疑問を大切にし、答えを教えるのではなく、一緒に考える機会を大切にしましょう。



家庭で子どもたちと過ごす時間をゆったりと取れる夏休みなどは、子どもの成長を実感し、家族の絆を深める絶好の機会です。身近なこと、無理なくできることから「家族の宿題」として子どもたちと約束し、一緒に始めてみましょう。

人づくり21世紀委員会、京都市PTA連絡協議会、京都市地域生徒指導連合会、京都「おやじの会」連絡会、京都市教育改革推進会議、京都市立幼稚園長会、京都市小学校長会、京都市立中学校長会、京都市立総合支援学校長会、京都市立高等学校長会、京都市教育委員会



## 子どもを共に育む京都市民憲章

わたくしたちのまち京都には、子どもを社会の宝として、愛し、<sup>いつく</sup> 慈しみ、将来を託してきた、人づくりの伝統があります。

そうした伝統を受け継ぎ、人と自然が調和し、命のつながりを大切にして、子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことは、京都市民の使命です。

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切にして、子どもを見守り、<sup>ほ</sup> <sup>しか</sup> 褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを<sup>おびや</sup> <sup>きぜん</sup> 取り巻く状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然と<sup>のぞ</sup> した態度で臨む必要があります。

わたくしたちは、子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、<sup>きずな</sup> 行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として市民憲章を定めます。

わたくしたちは、

- 1 子どもが存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の<sup>きずな</sup> 絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

(平成19年2月5日制定、3月13日 憲章推進の市会決議)